

こんな時には・・・, Q&A

Q1 学校の自己評価の結果がC（あまり適切でない）やD（まったく適切でない）のときは、学校関係者評価も「適切でない」と評価するべきでしょうか。

A: 自己評価の結果はよくなくても、目標や指標、取組、分析、改善策(案)を適切に考えて対処している場合は「適切」、逆に適切な対処でないと感じたときは「適切でない」と評価をしてください。学校も、学校の「順調な側面」のみを強調するのではなく、「停滞している側面」も説明するようにします。よいところばかりでなく、できていないところはできていないと言える学校が、改善を目指したよい学校と言えます。

Q2 学校の様子を、あまり観察できていません。もっとよく見たいと思っていますのですが。

A: 遠慮なく学校におこしください。また、参観日でなくても授業を見ていただくこともできます。

Q3 参観日と普段の日とで、子どもの様子が違うように思います。そのような時には、どのように判断したらよいのでしょうか。

A: 普段、子どもたちにどんな課題があって、学校はどんな働きかけをしているかたずねてみてください。その上で、学校の取組を判断してください。

Q4 日頃、学校の課題であると感じていることが、学校の説明で触れられていません。どうしたらよいでしょうか。

A: 課題を共有することが大切です。課題と感じていることを率直に伝えてくだされば、学校も改めて課題意識をもち、取り組んでいくことができるようになります。

Q5 学校は、よくやっていると思います。信頼もしているので、お任せして安心だし、特に言うことはないのですが。

A: ちょっとした気付きであっても学校に伝えてくださればと思います。場合によっては、そこから大きな課題が発見されることもあります。子どもたちの学校生活の充実の為に「ささいなことだから」と思うことであっても、遠慮なく学校に伝えてください。

この他にも分からないことは遠慮なく学校におたずねください。

呉市教育委員会 学校教育課 TEL 0823 (25) 3458
〒737-8509 呉市中央6丁目2-9 (つばき会館3F)

呉の学校評価

学校関係者評価委員のみなさまへ

呉市では
「確かなステップアップ」を目指した
学校評価に取り組んでいます



平成22年2月
呉市教育委員会

学校評価とは

『学校評価』は、保護者・地域と学校との対話のツールです。学校関係者評価委員のみなさんには、よりよい学校づくりへの参加をお願いします。

学校評価の目的

- ① 学校が、学校運営全般について目指すべき目標を設定し、それを評価することにより、組織的・継続的な改善を図ります。
- ② 学校関係者評価の実施とその結果の公表・説明により、適切に説明責任を果たし、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進めます。
- ③ 教育委員会が、学校評価の結果に応じて、学校に対する改善措置を講じることにより、一定水準の教育の質を保証します。学校と学校を比べて、優劣を付けることはありません。

呉市では、『学校評価』により、保護者・地域と学校が互いに理解を深め、協力し合うことを通して教育の質の一層の向上を図っています。

学校関係者評価委員の役割

学校関係者評価は、その学校の教育活動の観察や意見交換等を通じて、自己評価（各学校の教職員が行う評価）の結果について評価することを基本として行うものです。

これにより保護者や地域住民と学校がお互いに理解を深め、学校の自己評価の客観性・透明性を高めることが期待できます。学校関係者評価委員の方には、「学校や子どもたちのためにあえて厳しいことも言ってくれる友人（クリティカルフレンド）」であってほしいと考えています。率直な意見、評価をお願いします。



守秘義務について

児童生徒の個人情報保護や安全確保に留意して、非公表とすることがふさわしい個人情報や資料が外部に漏れることのないよう十分留意してください。



学校関係者評価の進め方

4月～5月 目標の確認

学校は、子どもたちや子どもたちを取り巻く現状を分析し、課題とこれから取り組んでいく方向を明らかにします。



学校からの説明内容

「子どもたちや学校の課題」
「これから取り組んでいく方向」
「目標や具体的な取組内容」など



学校が現状を分析したり、課題や今後の方向を考えたりする際に、学校関係者評価委員のみなさんの御意見を伺うことがあります。

「中間評価」まで、参観日・学校行事など、学校の取組や子どもたちの様子を観察するよう努めてください。登下校や地域での子どもたちの様子も、貴重な情報となります。

8月～11月 中間評価

学校は、4月からの取組を中間評価として自己評価し、その結果と学校関係者評価委員のみなさんの御意見をもとに、今後の改善策を考えます。



学校からの説明内容

「上半期の取組結果とその分析」
「下半期に向けての改善策の案」
など



学校の自己評価を「適切」と判断される場合には、良い評価は当然ですがそうでない場合には、厳しい評価をお願いします。学校にとって「耳の痛いこと」も言ってくださることを学校関係者評価委員のみなさんに期待しています。

「最終評価」まで、学校の取組が改善されているか、子どもたちの様子に変容が見られるか観察するよう努めてください。

2月～3月 最終評価

学校は、下半期の取組を最終評価し、その結果と学校関係者評価委員のみなさんの御意見をもとに、次年度の取組の方向に反映させます。



学校からの説明内容

「改善策の取組結果とその分析」
「次年度に向けての取組の方向」
など

学校からの説明について、中間評価と同じように率直に評価してください。